

新校舎で初めての「佐中祭」

10月23日、佐賀中学校で「第11回佐中祭」が開催され、生徒やお客さんのたくさんの笑顔でにぎわいました。

今年から、人権集会と時期を入れ替え、秋に開催。午前中は、6月に完成した新校舎の落成式典も行われ、もち投げには多くの人が集まりました。

正午からは、グラウンドに生徒や保護者らの出店が並び、たこ焼きやおでんなどを販売。ステージでは、吹奏楽部の演奏や、生徒有志による歌やダンス、最後は大方高校軽音楽部のゲスト出演で盛り上がりました。そのほか、校舎内では、フリーマーケットや、美術部展示、懐かしい写真の展示、8月のニュージールランド研修報告などを行い、地域住民に日ごろの活動について発表しました。



大方高校「学校運営協議会」が 文部科学大臣表彰受賞！

11月7日、大方高校の学校運営協議会が、優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞しました。

この表彰は、平成23年度から始まったもので、今年度は全国120団体が受賞。そのうち、高等学校関係は同協議会のみでした。

同協議会は、地域住民、有識者、保護者、教育関係者の11人で構成。学校の教育目標や理念などの策定に関わるとともに、黒潮町や高知

大学と連携した活動を継続しています。ここから、カツオたたきバーガーや黒塩を商品開発した「自立創造型地域課題解決学習」なども生まれています。

今後、地域に根ざした学校運営の取り組みに期待しています。



上川口小学校で箏コンサート

11月9日、上川口小学校で、特定非営利活動法人ミュージックシエアリング（五嶋みどり理事長）による今年2回目の訪問コンサートが行われました。

今回は世界で活躍する箏奏者・沢井一恵さんら6人が来校。参加した上川口・南郷・伊田小学校の児童約70人のほとんどが箏を見るのは初めてで、めずらしい箏の音色を真剣に聴いていました。

その後、「初めてでも簡単に弾ける曲を」と沢井さんが選んでくれた「かえるのうた」を、全員が交替で演奏。初めて触れる箏に戸惑いながらも、とても上手に弾いて楽しんでいました。



地域の絆を強くする「芝文化祭」

10月30日、芝地区で初めての「芝文化祭」が開催されました。

20数年前に運動会を中止して以来、地区の行事がなかったことから、「みんなが集まって交流する機会を作ろう」と、芝老人クラブ会長・千谷温勇（はるお）さんが企画。青壮年部や子ども会、婦人会らの協力で実現しました。

当日は、雨のため屋内での開催となりましたが、水入れや縄ない、仮装行列など4組に分かれて競い合い、お昼にはカレーや豚汁を一緒に食べて交流しました。

子どもからお年寄りまで、いろんな世代の人が参加し、みんなが楽しんだ一日となりました。

芝地区では、来年以降も続けていきたいと話しています。

